

令和5年度 第3回瑞浪市男女共同参画社会推進会議要旨

日時:令和5年11月11日(土) 16時00分~17時00分

会場:瑞浪市総合文化センター 3階講堂

出席者(敬称略):渋谷典子、古澤辰広、成瀬良美、浅沼克郎、野田順子、大島紀美夫、
中山千鶴、丸山良美、大竹悦子、安藤士月、唐蓉嵐、須藤茂美、
鈴木実千江、西尾正浩、安藤友美、柴田洋子、宇井壮五

〈事務局〉まちづくり推進部長 小木曾昌弘、生活安全課長 工藤雄一
生活安全課人権啓発係 永田智恵、渡邊栄子

議事:(1)令和5年度瑞浪市男女共同参画市民講演会の振り返りについて
(2)令和6年度瑞浪市男女共同参画市民講演会について
(3)今後のスケジュールについて
(4)その他

内容

(進行:事務局)

1. まちづくり推進部長あいさつ

(部長) 省略

2. 座長あいさつ

(座長)本日の講演会の準備、設営等、本当にお疲れ様でした。私は、参加された方の顔が正面から見えていたので、皆さんの考えている表情や、「はっ」とした表情を拝見していました。「はっ」と思ったその瞬間が何か動きに繋がるのではないかと思います。今後の展開を楽しみにしています。講演会で発言してくださったお二人に拍手です。ありがとうございました。

3. 議事

- (1) 令和5年度瑞浪市男女共同参画市民講演会の振り返りについて
- (2) 令和6年度瑞浪市男女共同参画市民講演会について

(座長)議事1、2について、事務局から説明願います。

(事務局) (資料に基づき説明)

(参加者)講師の先生のお話のし方も含めてすごく聴きやすく、参加させていただいた意義を感じました。自分が思い込みについて考えた時に、自分の思い込みについて疑問を持っていないので、それをまず考えさせていただく機会となりました。自分が育ってきた環境や時代や見てきた物や感じたことが、今の思い込みにつながるのではないかと感じた時に、自分が育てている子どもに、どういったものを見せていったらよいのかを考えさせられました。それがきっとその子の思い込みに繋がっていくので、すごく考えさせられる講演会になりました。

(参加者)今まで、思い込み、がんじがらめの中で生活をしていましたが、今日の講演で全部が吹っ飛び安心しました。今日の講演は、今まで長年、男女共同参画の講演会に参加させていただいた中で一番心に響いた講演会でした。

(参加者)今日のテーマはすごく難しいなと思っていました。心の問題なので、70年間刷り込まれたことが0にはならないが、マインドのギャップを縮めていくという努力をする必要はあるのだと思いました。後半は、企業体や組織体のマネジメントに関わる方へのお話かなと感じました。対談の中で質問された方は関係者かと思いましたが、非常に上手に具体的に掘り下げるような質問をしていただけてありがたかったです。自治会のことも質問が出ましたが、すごく難しいことだと思います。

一人の人間なら数十年で済むのですが、私の考えでは自治体の中の組織はおそらく数百年の単位で日本の社会に刷り込まれているのではないかと感じます。非常に難しいことですが、そこに挑戦してみる価値もあるかもしれませんし、触れない方がいいのかもしれませんが。今日の皆さんのアンケートを参考にして来年のことを決めるといいかなと思います。

(参加者) 中村先生のお話は、非常にわかりやすく、自分にも思い込みがあったと気づけた内容でした。心に残ったのは「思い込みの中から起こるトラブルでも人を変えるのは難しいので、自分が変わった方がいいよ。」という言葉です。質問の中に、地域のことがありましたが、地域のことは問題点がいっぱいあり、自分たちに降りかかってくることを身に染みめています。来年のテーマは、地域のことや自治体のことがいいかなと思います。

(参加者) 私は、日本へ来る前に中国で銀行員として7年間働きました。幼い頃は、父母は共働きしながら家事をやるのが当たり前で、自分も働くのが当たり前だと思っていました。日本に来て子どもを育てる中で、学校の早帰りや行事も多く、主人も残業があったりで、自分も働きたくても働けず、ずっと正規の仕事には就きませんでした。中村先生の話をして、子育てをしながらここまでやってきたことにとっても感動しました。この講演会に参加しなかったらこの話も聴けなかったので、感謝しています。思い込みや偏見は、自分は無いつもりでいてもいっぱいあります。例えば男女共同参画社会推進会議に参加して、男性はもっと家事をして、女性がもっと社会に出ると感じかなと思っていました。でも、実際に講演を聴いて、主婦をしたい方の選択もあるので、それは自分の思い込みかなと感じました。先程のスマホの話で、自分もアップデートされたと感じました。とても深い話でした。来年度は、皆さんのアンケート結果を見ながら考えたいと思います。

(参加者) 中村先生の話は、大変分かりやすく楽しく聴かせていただきました。自分の思い込みは、話を聴いて「ああそうか」と思いますが、これを人に話して伝えることはとても難しいと思いますので、こういう機会があれば、市民の方にどんどん参加していただきたいです。こういう話を聴くことによって自分が思い違いをしていることが分かるので、今日の講演は大変よかったと思っています。一般参加のお二人から実際の話をお聴かせいただき、大変参考になりました。実際に育児休暇を取った方の体験談を聴くのが一番理解することができました。

(参加者) 一般の方の意見の中で育児休暇を1年取られた方がいましたが、仕事を聞いたら納得でした。中小企業では、まず無理です。自分がもし経営の立場なら困ってしまいます。テレビのニュースでもありましたが「育児休暇を取られましたか？」というアンケートで3割の方が取って7割は取っていないとなっており、「なぜ取らなかったか？」という、「仕事のスキルが落ちる」、中には「職場転換も考えられる。」という答えが特に男性ではありました。そういった面から考えて、経営側の考え方も変えていかないと、安心して育児休暇を取得できないと強く思いました。特に上司がもっと深く考えてほしいと思います。来年度は、育児休暇についても深く考えていきたいと思いました。

(参加者) いろいろなことに感激しました。自分が産まれた環境で思い込みが決まってくると分かって、皆さんそれぞれの意見は十人十色で、その中で良いことを吸収していけばいいのだと再認識させていただきました。

(参加者) 今日の講演会で一つ自分自身の考え方が違っていったと思ったことがありました。この委員となり、瑞浪市の男女共同参画社会ということが、男性が家事や育児を行い、女性が外で働くことだけのような考えがあったのですが、「誰もが生きやすい社会を目指すことだ」という言葉が、今日一番心に響いた言葉でした。

(参加者) 今年初めての参加で、このような会議があること自体知りませんでした。私の仕事は、学校関係で子どもたちと関わっています。ある時、担任の先生が「ちょっと男子頼む。」と言ったときに、学級委員長をやっている女の子が、「なんで男子なのだろう。私もやりたかったのに。手伝ってと言ってくればよかったのに。」と言っていたという話を聞いたことがありました。それを担任の先生にお伝えしたら、その先生は素敵な先生で、英語の先生だったので、ジェンダー平等のことを外国

の話を変えながら伝えてくださったということがありました。私も少しずつ勉強していかななくてはと思いました。

(参加者)ジェンダーという言葉自体をほとんど分かっておらず、今まで考えたことがなかったのですが、こんなことがあるのだと今日よくわかりました。育児休暇については、昨年まで約80人のうち男性が約9割の中小企業の総務をやっていましたが、規定は労働基準法に則った規定を出しましたが、それを運用しようと思うととても無理です。市役所や大手はできるでしょうが、中小企業には絶対に無理です。これをどう解決していくのかは、大変難しい問題だと思いました。

(参加者)今回この講演がすんなり頭に入り、今まで聴いてきた中で男女共同参画の内容について飲み込めたような気がしました。思い込みについて考えた時に、人間である以上、思い込みも逆にはいいのではないかと思います。その中で、忖度という言葉も出てきましたが、間違った思い込みの忖度は、いかにリカバリーしていくかということです。人間の価値が決まるリカバリーということで、作ってしまったハードルをカバーしていければいいかなと、思い込みもまた間違っているのかなとも思います。アンコンシャスバイアスについては、目が覚めました。今まで持っていた無意識の偏見は、何かあった時に思い返して、リセットして物を見るようにしたいと思います。

(参加者)介護の仕事をしていて、その中で、いろいろな人がいらっしゃって嫌なことを言われたりすることもあります。嫌な相手からも距離を取って偏見な形ではなく客観的に見るということがとても印象に残りました。

(参加者)私は、子どもたちに「普通はこうだよ。」と、「普通」という言葉をよく使ってしまいます。子どもたちは「普通って何？」と言うのですが、それも決めつけなのだと思います。これからは「普通」という言葉を使わないように、自分が変わらないといけないと思いました。私は、親や犬の介護のことで手一杯の中、夫がいろいろとやってくれるようになりました。最近で言うと、私が介護をしているとき、チャーハンを作ることを言っておいたら、主人がその間に作ってくれていました。すごくびっくりして嬉しかったのですが、私が切っておいた玉ねぎの他に、主人がピーマンを切ってチャーハンに入れてくれていました。ピーマンが入っていることに気がつかず、それを気づいて褒めてあげる余裕がなかったことに、すごく残念な気持ちになりました。今日のお話を聴いた時に、ちょっと一息入れて頑張りすぎはいけないということが勉強になりました。最近、男性や年配男性が買い物やゴミ出しをしている姿をよく見かけます。今までは、自分が家のことを全部やらなければいけないと思ってやってきましたが、そういう光景を見かけるとホッとできるようになりました。少しでもやってもらえるということ。できることが増えるということは、その人の財産になるので、主人も得だということなど、自分自身の勉強になりました。

(参加者)中村先生のお話は、とても話し方が上手くわかりやすくテンポもよく、ユーモアもあり、内容もよかったです。私もアンコンシャスバイアスがたくさんあるなと思い、偏見の塊だということが再認識できてよかったです。対談も、二人の関係性もあると思いますが、和気あいあいとしながら重要なメッセージを伝えていただきありがとうございました。

(参加者)昨年、アンコンシャスバイアスという言葉を知って、このテーマでどういう話になるのか興味深かったのですが、演題も変わり、中村先生の話の内容も興味深く楽しく聴けました。世の中は、すべて思い込みでまわっているのだな、自分自身もそうだなと思いました。それをなくすには4つの行動があり、それを活用していかななくてはいけないのですが、違いの共有ということが印象に残っており、ともすると違いを排除していかななくてはいけないのではないかと思います。むしろ違いは間違いではないので、それを大事にしていかななくてはいけないなと教訓として非常に心に残りました。来年の話ですが、こういった講演会が、どういう風に我々身近な自治会や団体の中で活用していったらいいのかを聴きたいと思います。ぜひ、具体事例で我々が持ち帰って組織や団体の中で活用できるようなテーマにさせていただけると興味深いものになるのではないかと思います。

(座長)おひとりおひとり貴重なコメントをいただき、私も思い起こしながらお伺いしました。併せて次年度のテーマをいただいたところです。他に何か追加としてありますか。来年度については、今のところ地域とか自治会のテーマや、育児休業のお話ですね。市役所などや大企業では取得しやすいけれど、取得はなかなか難しいというお話もありました。では、皆さんにコメントいただいたので、ご質問がなければ、議事1、2は承認されたこととしますがよろしいでしょうか。

<間>

(座長)ご質問がないようですので、議事1、2は承認されました。

(3)今後のスケジュールについて

■第4回推進会議

日時:令和6年2月～3月頃

会場:未定

内容:令和5年度の振り返り、令和6年度の計画

講演会内容・開催日(予定)の決定

(座長)議事3について、事務局から説明願います。

(事務局)(レジュメに沿って説明)

(座長)何かご質問はありますか。

<間>

(座長)他にご質問がないようですので、議事3は承認されました。

これで議事が終了しましたので、事務局に進行をお返しします。ありがとうございました。

(事務局)スムーズな進行をありがとうございました。

(4)その他

(事務局)事務局からのお知らせになります。

・11月28日から12月27日まで、第3次みずなみ男女共同参画プラン(案)について、市民の皆さまのご意見をうかがうパブリックコメントを実施します。広報の11月号にも掲載しておりますのでよろしく願いいたします。

・上野千鶴子さんの講演会の説明

(事務局)今の説明に対して、何かご質問ありませんか。

(参加者)来年の講演会について、市政70周年とのことですが、このような形式ではなく、もっと大きい規模の講演会をお考えですか。それによってテーマなどが変わってくるかと思います。

(事務局)プランの計画初年度を記念して、例年よりもう少し規模の大きい講演会を予定しています。現在、令和6年度を計画初年度とする10年プランを策定しておりますが、中間見直しも行いますので、プラン自体は5年ごとに作り変えることになり、記念講演会も5年毎を予定しています。来年度は市政70周年ということもありますので、何とか開催したいと考えております。皆さんの意見を頂戴できれば提案もしやすいので、ぜひ皆さんの思いを聞かせていただきたいと思います。よろしく願いいたします。

(座長)男女共同参画審議会の会長も務めております。プランについて一人でもたくさんの人が集まれば皆さんの関心があることの証になります。よろしく願いいたします。

(事務局)これをもちまして、令和5年度 第3回瑞浪市男女共同参画社会推進会議を閉会します。

来年度の講演会に関するアンケートは書かれた方は机に置いてお帰りください。後日、生活安全課にご提出いただいてもかまいません。長時間にわたり、お疲れ様でした。本日はありがとうございました。

《閉会》